

代表質問・一般質問の要旨

第1回定例会では、市長の施政方針に対して会派ごとに質問をする「代表質問」と、無所属議員による「一般質問」が4日間にわたり行われました。
 2面～6面では、市長の施政方針及び代表質問・一般質問の主な内容についてお知らせします。
 ◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。
 本会議の様子は議会インターネット中継から視聴することができます。QRコードからアクセスしてください。



市長の施政方針の概要

2月25日の本会議において、市長が施政方針を表明しました。詳細は市報3月15日号、市ホームページをご覧ください。

「コロナ対策」について

「人」のいのちと健康を守り、市内経済の活力をま
 ち全体で支える取組を対策
 の中心としている。
 3回目の追加接種は、ス
 ケジュールを前倒しで実施。
 5歳から11歳までの方への
 接種は、3月開始予定。自
 宅療養者には、東京都から
 の支援が届くまでの間、食
 料等の支援を実施。医師会
 の発熱外来運営に継続支援
 する。



池澤 隆史 市長

令和4年度の主要な取組

子どもにやさしいまち
 新たにショートステイサ
 ービス等を取り入れ、産後
 ケア事業の拡充を図る。
 令和4年度から「ひいら
 ぎ」は、児童発達支援セン
 ターとなる。田無総合福祉
 センターを改修し、児童発
 達支援等障害児通所事業の
 民間事業者を公募する。
 全ての学童クラブにWi
 Fi環境を整備。保谷
 柳沢児童館、芝久保児童館
 では、隔週日曜日を閉館す
 る。
 児童福祉法に基づく「子
 ども家庭総合支援拠点」を

子ども家庭支援センターに
 位置付ける。
 4月に認可保育園1園、
 小規模保育事業2施設を開
 設。公設民営の「みどり保
 育園」の事業者選定を行う。
 令和5年4月に私立幼稚園
 等に入園する際に必要とな
 る費用の補助制度を開始。
 学校トイレは、床の乾式
 化、便器の洋式化、手洗い
 の自動水栓への取替えなど
 の改修を実施。
健康で元氣なまち
「健康」応援都市の実現を
目指して

子どもにやさしいまち
 子宮頸がんワクチンは、
 積極的な勧奨を再開し、令
 和4年度から3年間の時限
 で、従来の定期接種対象年
 齢を超えて接種を行う。
 健康デジタル指導士を養
 成し、フレイル予防の拠点
 に派遣。デジタル技術を活
 用し、高齢者同士による「e
 スポーツ」などを通し、交
 流環境を整える。
 障害福祉分野では、専門
 職を中心としたケースワー
 ーカー制の導入を順次進める。
 泉小学校跡地での地域生
 活支援拠点等整備は、令和
 4年度から本格実施。重層

的支援体制整備事業として、
 多機関協働での相談支援や
 社会とのつながりを回復す
 る参加支援、孤立防止と多
 世代交流の場を確保する地
 域づくりを一体的に実施。
集える場とつながりの
あるまち
 市民会館跡地活用は、定
 期借地権を設定し、民間事
 業者により建物整備を行い、
 一部を公共施設として賃借。
 令和6年4月までに施設の
 供用開始ができるよう、基
 本協定等の締結準備を進め
 る。令和4年度中に南町ス
 ポーツ・文化交流センター
 「きらっと」にスポーツ相
 談窓口を設置。再開館する
 田無公民館のロビー機能を
 強化し、学習スペースとし
 て活用。
 地域人材の活躍の場を広
 げる取組として、「まちな
 か先生」を本格的に実施。
 「したのや縄文里山プロ
 ジェクト」完成に向け、豎
 穴住居等の整備工事を行う。
安心・安全で快適なまち
「ゼロカーボンシティ」を
宣言
 環境配慮行動への動機付
 けとなる西東京市版「環境

的支援体制整備事業として、
 多機関協働での相談支援や
 社会とのつながりを回復す
 る参加支援、孤立防止と多
 世代交流の場を確保する地
 域づくりを一体的に実施。
集える場とつながりの
あるまち
 市民会館跡地活用は、定
 期借地権を設定し、民間事
 業者により建物整備を行い、
 一部を公共施設として賃借。
 令和6年4月までに施設の
 供用開始ができるよう、基
 本協定等の締結準備を進め
 る。令和4年度中に南町ス
 ポーツ・文化交流センター
 「きらっと」にスポーツ相
 談窓口を設置。再開館する
 田無公民館のロビー機能を
 強化し、学習スペースとし
 て活用。
 地域人材の活躍の場を広
 げる取組として、「まちな
 か先生」を本格的に実施。
 「したのや縄文里山プロ
 ジェクト」完成に向け、豎
 穴住居等の整備工事を行う。
安心・安全で快適なまち
「ゼロカーボンシティ」を
宣言
 環境配慮行動への動機付
 けとなる西東京市版「環境

ポイント制度(にしようき
 よう環境チャレンジ)を
 創設。表彰制度(「仮称」
 にしようきよう環境アワー
 ド)を新設。「ゼロカーボ
 ン市区町村協議会」にも参
 画。森林環境譲与税を主な
 財源とする「地球温暖化防
 止対策基金」を設置。生垣
 造成に係る補助事業を見直
 し、緑化推進による沿道の
 花壇等の整備も対象とする
 「緑と花の沿道推進事業」
 を実施する。「東大生態調
 和農学機構」など、みどり
 豊かな地域資源を生かし、
 ゼロカーボンシティの積極
 的推進を図る。
 令和4年度中に田無駅南
 口駅前広場の整備イメージ
 を示したい。

的支援体制整備事業として、
 多機関協働での相談支援や
 社会とのつながりを回復す
 る参加支援、孤立防止と多
 世代交流の場を確保する地
 域づくりを一体的に実施。
集える場とつながりの
あるまち
 市民会館跡地活用は、定
 期借地権を設定し、民間事
 業者により建物整備を行い、
 一部を公共施設として賃借。
 令和6年4月までに施設の
 供用開始ができるよう、基
 本協定等の締結準備を進め
 る。令和4年度中に南町ス
 ポーツ・文化交流センター
 「きらっと」にスポーツ相
 談窓口を設置。再開館する
 田無公民館のロビー機能を
 強化し、学習スペースとし
 て活用。
 地域人材の活躍の場を広
 げる取組として、「まちな
 か先生」を本格的に実施。
 「したのや縄文里山プロ
 ジェクト」完成に向け、豎
 穴住居等の整備工事を行う。
安心・安全で快適なまち
「ゼロカーボンシティ」を
宣言
 環境配慮行動への動機付
 けとなる西東京市版「環境

総合計画・その他計画は、
 調和させ、本市のブランド
 デザイン策定にも取り組む。
 学校を核とした地域づく
 りを目指し、地域全体で子
 どもたちの学びや成長を支
 え、「学校応援団」も募る。
 商店街活性化推進事業補
 助金の補助率を拡充し、地
 域活力の向上を図る。
 都市農地保全支援プロジ
 ェクト補助金を活用し、市
 民農園への支援を図る。
行財政基盤の強化を絶えず
目指すまち
 「(仮称)デジタル戦略推
 進係」を新設する。
 LINEによる道路や公
 園遊具等の不具合を画像で
 知らせる仕組みを構築する。
 手数料等の支払い等は、
 キャッシュレス化を進める。
 令和4年度中に、「(仮称)
 おくやみ窓口」を新設する。
 行政サービスにおけるエ
 リア(圏域)は、「中学校区」
 を念頭に検討する。
 また、庁舎機能維持の観
 点から、田無庁舎に引き続
 き、防災・保育保健福祉総
 合センター等の公共施設に
 ついても耐力度調査を行う。

総合計画・その他計画は、
 調和させ、本市のブランド
 デザイン策定にも取り組む。
 学校を核とした地域づく
 りを目指し、地域全体で子
 どもたちの学びや成長を支
 え、「学校応援団」も募る。
 商店街活性化推進事業補
 助金の補助率を拡充し、地
 域活力の向上を図る。
 都市農地保全支援プロジ
 ェクト補助金を活用し、市
 民農園への支援を図る。
行財政基盤の強化を絶えず
目指すまち
 「(仮称)デジタル戦略推
 進係」を新設する。
 LINEによる道路や公
 園遊具等の不具合を画像で
 知らせる仕組みを構築する。
 手数料等の支払い等は、
 キャッシュレス化を進める。
 令和4年度中に、「(仮称)
 おくやみ窓口」を新設する。
 行政サービスにおけるエ
 リア(圏域)は、「中学校区」
 を念頭に検討する。
 また、庁舎機能維持の観
 点から、田無庁舎に引き続
 き、防災・保育保健福祉総
 合センター等の公共施設に
 ついても耐力度調査を行う。

自由民主党西東京市議員団

市長の政治姿勢を伺う

新型コロナウイルス感染症対策の進捗、

市の対応状況を問う

令和4年度の主な政策について

- 小林 たつや
- 山田 忠良
- 中川 清志
- 富永 雄二
- 坂井 かずひこ
- 酒井 ごう一郎
- 田中 のりあき
- 稲垣 裕二
- 遠藤 源太郎
- 保谷 なおみ

市長の政治姿勢につい
 て、政策判断の基軸を、な
 ぜ「次世代への責任ある選
 択」としたのか。次世代へ
 の責任とはどのような意味
 を込めたものなのか。
 子どもにやさしい、子
 どもがど真ん中のまちづく
 りを政策理念としてきた。
 次世代の子どもたちのため
 に、現役世代がしっかりと
 責任ある行動と選択を果た
 すことが大切。子どもたち
 の声を受け止め、まちづく

りを進める。
 新型コロナウイルス感
 染対策について。
 市内医療機関には、通
 常診療の影響は出ていない。
 追加接種の進捗は、2月21
 日現在、市内医療機関の個
 別接種などにより国の接種
 率を上回り、接種は進んで
 いる。小児接種の不安等に
 ついては、副反応などの情
 報を接種券に同封し、国等
 のホームページを案内して
 いる。医師会の発熱外来運

営を引き続き支援する。
 高齢者に対しては、「高齢
 者応援カード」を配布予定。
 フレイル予防としては、家
 庭用ゲーム機を用いて高齢
 者向けのコンピュータゲー
 ムを取り入れた「eスポ
 ーツ講座」に取り組む。
 学校行事及び部活等への
 影響については、感染拡大
 防止のため、多くの内容を
 中止又は縮小した。部活動
 は、まん延防止等重点措置
 の適用期間中は中止とした。

オンライン授業については、
 子どもの学びを止めてはな
 らないという思いから、全
 国的にも先駆けて実施。子
 どもたちの心を支え、学び
 や成長を支援することを目的
 に全児童生徒、高校生等に
 図書カードを贈呈する。
 市内事業者支援としては、
 キャッシュレス決済ポイン
 ト還元事業を令和3年7月
 8月で実施、1月には第2
 弾を実施した。西東京商工
 会役員との意見交換で、キ